

輝く「魅力向上」プロジェクト

- 政策目標1 情報発信
- 政策目標2 歴史・観光

関係人口や交流人口の創出に向けて、シティプロモーションをはじめとする様々な取組を行うとともに、本市の強みである歴史・文化財の保存、活用や観光資源の磨き上げなどを通して「魅力向上」を図ります。

新規【人口創出課】 関係人口・交流人口の創出 文京区スポーツ交流事業 1,593千円

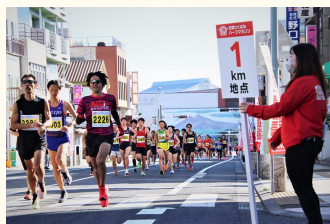
令和8年度は、文京区との協定締結30周年にあたります。様々な年代・分野で相互交流をさらに深めることを目的として、両区市のスポーツ施設を会場として、スポーツ少年団（小学生）を対象とした交流試合を実施します。

拡充【文化振興課】 歴史・文化財の保存 指定文化財保存事業補助金 4,861千円

指定文化財の適正な管理、保存等を図るため、当該文化財の所有者または管理者等にかかる管理・修理・復旧費用の負担を軽減させ、歴史的資源である文化財を次世代に継承していきます。

【スポーツ振興課】 関係人口・交流人口の創出 石岡つくばね ハーフマラソン大会の開催 16,000千円

令和5年度から「石岡つくばねハーフマラソン Live every moment!」を開催しています。市内外から多くの人々が訪れることで、関係人口や交流人口の増加を図り、地域の活性化を目指します。



その他の輝く「魅力向上」プロジェクト 注目事業

- 【商工観光課】 いばらきフラワーパーク駐車場整備事業 145,000千円

輝く「まち」プロジェクト

- 政策目標3 安全・安心
- 政策目標4 都市基盤・環境

子育て世代や若者をはじめ様々な世代の方が、住みたい住み続けたいと思えるまちづくりを推進します。災害の発生や犯罪などに対して安心して暮らせる取組や環境整備、ゼロカーボンシティに向けた取組などを進め、市民が日々生活する基盤である「まち」づくりに磨きをかけていきます。

拡充【生活環境課】 ゼロカーボンシティに向けた取組 プラスチックごみの再資源化事業 7,423千円

市内に回収拠点を設置し、市民からプラスチックごみを分別回収します。令和8年度から、回収したプラスチックごみを市民に還元できる製品に再商品化します。

新規【水道課】 物価高騰対策 公営上水道基本料金の一部減免 220,160千円

長引く物価高騰への支援策として、国から交付される物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、市内公営上水道を利用する世帯の基本使用料の一部を6か月間減免します。

新規【コミュニティ推進課】 安心して暮らせる環境整備 防犯カメラ設置補助金 1,000千円

市民一人ひとりの防犯意識を高めることが重要なことから、個人宅に設置する防犯カメラの経費の一部を補助することで、一層の安全安心なまちづくりを推進します。



その他の輝く「まち」プロジェクト 注目事業

- 【生活環境課 空家相談室】 空家等対策事業 4,439千円

輝く「ひと」プロジェクト

- 政策目標5 健康・福祉
- 政策目標6 子育て・教育・学び

妊娠・出産・子育て・教育に対して、切れ目のない支援を行うことで、総合的な子育て支援、教育環境の充実を図ります。また、本市に必要な保健・医療体制の強化を図ることや、生涯現役社会を目指すことで、それぞれのライフステージでの活躍を支援します。

新規【教育総務課】 子育て・教育支援の充実 教育環境の充実

より良い教育環境を整備していくため、八郷中学校地区の8つの小学校統合（瓦会・林・恋瀬・葦穂・吉生・柿岡・小幡・小桜小学校）に向けた具体的な協議を始めます。また、府中小学校の新築に向けた設計業務を実施します。



▲ 府中小学校建築基本構想に関するワークショップの様子

【健康増進課】 保健・医療体制の充実 総合保健センター(仮称)整備事業

老朽化している石岡保健センターと八郷保健センターを統合し、新しく総合保健センター(仮称)を整備します。設備面、機能面ともに強化し、幅広い世代の健康づくり支援だけでなく、併設予定のこども家庭センターと連携し、子育て世帯への支援の充実を図ります。

その他の輝く「ひと」プロジェクト 注目事業

- 【高齢福祉課】 新規 高齢者補聴器購入費補助金 900千円

輝く「暮らし」プロジェクト

- 政策目標7 産業・経済
- 政策目標8 地域・文化

企業誘致をはじめとした各取組を推進し、持続可能な商工業や農業の振興を図ります。また、市民が主体となり行う文化芸術活動や地域コミュニティの活性化に向けた取組の支援などにより、様々な人が活躍出来る共生社会の構築を目指します。

【農政課】 持続可能な産業振興 地域ぐるみの有機農業の推進 5,996千円

石岡市の有機農業は、生産者・団体等が国から受賞・表彰されるなど高い評価を受けています。令和8年度は、地域ぐるみで有機農業を推進するため、生産者・団体等と協力し、学校給食への有機農産物の提供や、有機農業に関するイベントを開催します。

【駅周辺にぎわい創生課 複合文化施設整備推進室】 文化芸術の推進

複合文化施設（市民ホール）整備事業

地域文化をはじめとする文化芸術を継承、交流、発信する文化拠点であるとともに、人々が集い、互いに絆を結ぶ交流拠点を目指します。

拡充【産業プロモーション課 企業誘致推進室】 持続可能な産業振興 産業用地の確保と企業誘致の推進 64,036千円

新規企業の誘致や既存企業の増設等に向け、新たな産業用地を確保するための取組を実施していきます。令和8年度は、指定予定の地区計画エリアにおいて、開発に必要な道路を新たに整備していきます。

また、引き続き市内未利用地への企業誘致を推進していくとともに、既存企業への支援を実施します。

その他の輝く「暮らし」プロジェクト 注目事業

- 【文化振興課】 市民がつくるコンサート開催事業 500千円



チャレンジする市役所（行財政改革大綱）とは

今後予想される少子・高齢化や急速に進展するデジタル社会への対応など社会情勢の変化にも即応できるように、失敗を恐れず、常に改善、改革に取り組むチャレンジ精神が成長戦略である総合計画の実現に向けて非常に重要です。総合計画において、すべての分野を下支えするものとして「チャレンジする市役所」を位置づけています。現在は、昨今の物価高騰を受けて、持続可能な行政経営に向けた健全財政維持に取り組んでいます。



行財政改革とは

地方自治体の最大の目的である「住民の福祉の増進」に向けて、安定的・持続的な行政サービスを提供していくための取組です。

【石岡市における行財政改革】

- 最少の経費で最大の効果を上げる
- 組織および運営の合理化に努める
- 市民と行政との協働の推進や事業の再評価・重点化
- 行政の担うべき分野や行政資産の配分の見直し
- AIなどの技術革新がもたらす社会変革への対応
- 働き方改革

【チャレンジする市役所に向けた取組】

- 常に改善、改革に取り組むチャレンジ精神
- やりがいが得られる組織風土の構築
- 挑戦できる人材の育成
- 限りある財源の効果的・効率的な活用
- 総合計画・行政資産・実施事業の連動
- 社会情勢の変化にも即応できる体制づくり

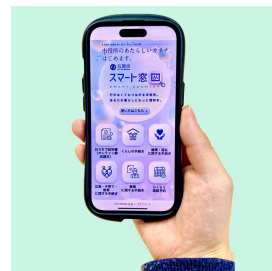


デジタル化の推進・自治体DXの挑戦

ICTの活用により、時代に即した効率的な行政運営を図るための業務・システムの最適化を図り、いつでも、どこでも、誰でも受けられる行政サービスの提供を目指します。

今まで実施したデジタル化の主な取組

- スマート窓口の導入
- 小学校保護者向け連絡アプリの導入
- 住居表示のデジタル化
- 地籍調査成果品等のデジタル化
- 電子契約システムの導入
- 子育て支援アプリの導入
- 保育所等のICT化



▲ スマート窓口のスマホ画面

拡充 【情報政策課】

公共施設予約システムの拡充 6,765千円

既に各スポーツ施設で稼働している公共施設予約システムを、公民館、ひまわりの館、龍神の森キャンプ場などの施設へ拡充し、いつでもオンライン予約が可能な環境を整備します。あわせて無人の施設にはスマートキーを導入し、キャッシュレス決済への対応も行います。

新規 【学校給食課】

学校給食管理システムの導入 9,053千円

給食献立作成、入札関連、アレルギー児童生徒への対応について、一括管理・運用が可能な管理システムの導入を行います。

また、栄養教諭が配置校で勤務中でも献立作成が可能なシステムの導入により、勤務の効率化を図り、児童・生徒への食育の充実を図ります。



チャレンジする市役所の2大テーマ

チャレンジする市役所の推進力を高めるためには、サービスの選択と集中を行える「組織および人材」と「財政」が軸になります。以下の2つのテーマについて、各施策を横断して、重点的・戦略的に取り組みます。

組織・人材マネジメントの充実

主な取組 | 組織づくり、人材の確保・育成による温かみのあるサービスの提供に向けた取組

- 組織機構の最適化
- 人材の確保・定員管理
- 働き方改革の実践
- コンプライアンスの徹底
- 民間活力の積極的な活用

新規 【総務課】

投票所数の見直しと移動期日前投票所の導入

令和8年12月執行予定の茨城県議会議員一般選挙から、投票所の投票環境向上のため、投票区を再編し、投票所数の見直しを図ると共に、再編に伴う支援策として、移動期日前投票所を導入します。



経営・財務マネジメントの充実

主な取組 | 行政資産（ヒト・モノ・カネ）を有効に活用し、様々な行政サービスへの需要に応えるための取組

- 財政推計との連動を高める事業査定
- 市民に対する財政推計の積極的な情報公開
- ファシリティマネジメントの推進
- ふるさと応援寄附金や有利な地方債、国県補助金等の活用による歳入確保

※ファシリティマネジメント：組織活動のために、施設とその環境を総合的に企画・管理・活用して最適化を図る経営活動

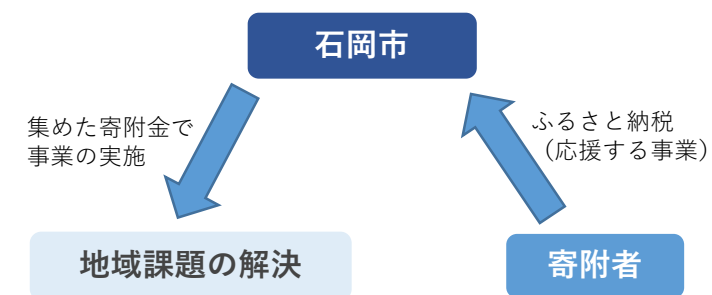
拡充 【ふるさと納税・財産活用課】

ふるさと応援寄附金事業

財源の確保や本市の魅力発信、地域経済の活性化等を目的として、ふるさと納税の取組を実施しています。申し込みサイトや返礼品数の増加、先行予約などに取り組み、利用しやすい環境づくりに努めるとともに、寄附額の増加を目指しています。

さらに、ふるさと納税制度を活用し、寄附金の使い道を明確にして寄附を募集するガバメントクラウドファンディングの実施に向けても取り組みます。

ガバメントクラウドファンディングの仕組み



※ガバメントクラウドファンディングとは、自治体が抱える問題解決のため、寄附金の使い道を具体的にプロジェクト化し、そのプロジェクトに共感した方々から寄附を募る仕組みです。



石岡市総合計画第2期基本計画 令和8年度リーディングプロジェクト

発行 石岡市 市長公室 政策企画課
〒315-8640 茨城県石岡市石岡一丁目1番地1
☎ 0299-23-7277
✉ kikaku@city.ishioka.lg.jp

